

□ アナリスト週間相場予想

江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 9/ 5 米雇用統計、米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 9 米大規模小売店売上高
- 11 米貿易収支、米財政収支、米新規失業保険申請件数
ユーロ圏経常収支
- 12 米ミシガン大消費者信頼感指数、米小売売上高
ユーロ圏鉱工業生産指数
CFTC建玉報告

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先限日足である。8/19安値2786円を一番底、9/3安値2777円を二番底としてWボトムないし2800円～2950円のレンジ相場を形成するかに見えたが本日買い方が当てにしていたサポートライン2777円をブレイクダウン。明らかに投げ催促の展開となっている。2日ルールのフィルターをかけて買い陣営の言い訳を探しても来週初めに2800円を回復できない限り戻り売りの下降波動が又始まったと判断すべきであろう。

対して白金であるが、こちらは今日ストップ安に阻まれたとはいえ8/19安値と9/4安値で形成するサポートを守って引けている。と言う事は金とは違い少なくとも今日は4600円所～5100円所の大きなレンジの中にいるということができる。総括すると、金売り白金買いが現在の値位置では妥当ではないかを感じる。(9/5引け後現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

為替市場で注目されていた4日の欧州中央銀行(ECB)理事会では、市場予想通りに金利が据え置かれ、トリシェ総裁の会見も経済成長見通しの引き下げ、インフレ見通しの引き上げという内容で、ノーサプライズであった。同時に米国に関する指標として、ADP雇用報告やISM製造業指数なども発表されたが、こちらも米国の経済状態(とくに雇用情勢)が厳しい環境に晒されていることを確認するに留まった。しかしながら、ユンケル・ユーログループ議長の「1.44ドル割れを歓迎する」とのコメントにユーロは全面安商状に陥り、これがドル/円にも波及する展開となっている。ドル/円は5日早朝の段階で106円台を割り込んだ。

為替市場では、他国の景況感の悪化や金利の先安感に伴い、相対的にドルが浮上している。金融不安は改善していないものの、株価の急落や雇用情勢の悪化にもかかわらず、市場ではドル選好の動きが継続している。本日の米雇用統計に関し、前哨戦となるADP雇用報告が予想を下回ったことで、市場関係者の見方も悪化の方向へと追認バイアスがかかっているようだ。こうなってしまうと、仮にサプライズがあれば上方向(ドル高)につながりやすく、貴金属には逆風となる可能性が高まる。また、為替に関しては、ようやくポンドの下落に対し行き過ぎとの見方が出始めたようで、クロス円が下げ渋るかどうかのポイントになりそうだ。

金、白金ともによもやの急落となり、直近安値を下回ってしまったが、目先もユーロ/ドル相場が鍵を握る展開が続きそうだ。為替の安定なくしては手掛けにくい状態で、ボラタイルな値動きに対応できるようにしたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年9月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から16,800円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年9月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)